

令和3年度 上津役小学校 学校経営方針

学校教育目標

『思いやりの心を持ち すすんで学び たくましく生きる子どもの育成』

- 思いやりの心を持ち、相手の身になって行動できる子ども (徳…やさしく)
- すすんで学び、豊かな思考力と表現力をもつ子ども (知…かしこく)
- 健康でたくましく、最後までやり遂げる子ども (体…たくましく)

① “思いやりの樹” (やさしく)

心豊かで自らを律し、自他の違いを認め合い、相手の立場に立って考え、判断し、行動できる思いやりの心をもつ子どもを育成していく。

◇『あったか言葉』があふれる学校に。

㊟りがとう ㊟っしょに ㊟ごいね ㊟んばろう
㊟てき ㊟にしなくていいよ ㊟いじょうぶ

② “学びの樹” (かしこく)

基礎的・基本的な知識や技能を活用し、自分の考えを表現したり、伝えたりしながら、意欲的に学習に取り組む子どもを育成していく。

③ “元気の樹” (たくましく)

基礎的な体力と健康・安全及び礼節に関する知識と態度を有し、生涯にわたって心身ともに健康で安全に過ごすことのできる生活力豊かな子どもを育成していく。